

<div>工事概要（共通）</div> <div>■工事件名 下諏訪総合文化センター改修工事（機械設備工事）</div> <div>■対象施設概要 施設の名称：下諏訪総合文化センター ＜敷地の条件＞<ul style="list-style-type: none">・住居表示：長野県諏訪郡下諏訪町4611-40・敷地面積：7,790.45㎡・用途地域：準工業地域・防火地域：なし</div> <div>■用語の定義<ul style="list-style-type: none">・準構造天井（準構造化した天井）：支持構造部と天井下地材を直接固定することにより、支持構造部と一体化した天井。</div> <div>■改修工事概要（建築工事）<p>（1）大・小ホール天井脱落防止対策工事 ＜小ホール＞</p><ul style="list-style-type: none">・既存メッシュ天井については撤去する。（吊材・受け材共撤去）・上部天井（木毛セメント板）については既存のままとし、直下に落下防止用の鋼材を新設する。・照明器具受け材、空調ダクト受材を新設する。・内装仕上については部位により撤去新設やクリーニングを行う。<p>（2）小ホール 客席椅子改修工事</p><ul style="list-style-type: none">・小ホールの客席取替え工事を行う。<p>（3）便所改修工事</p><ul style="list-style-type: none">・「もみの木モール便所」について全面的な改修を行う。<p>（4）小ホール 舞台機構改修工事</p><ul style="list-style-type: none">・小ホールのステージの縦帳、幕、バトン、反射板等の改修工事を行う。<p>（5）雨漏り対策工事</p><ul style="list-style-type: none">・雨漏り箇所の修繕を行う。<p>（6）外壁工事</p><ul style="list-style-type: none">・タイル浮き部分張替え工事を行う。・サッシ廻りのコーキング塗り替えを行う。</div> <div>■改修工事概要（電気設備工事）<ul style="list-style-type: none">・小ホール天井脱落防止対策工事に伴う電気設備工事・トイレ改修工事に伴う電気設備工事</div> <div>■改修工事概要（機械設備工事）<ul style="list-style-type: none">・小ホール天井脱落防止対策工事に伴う機械設備工事・衛生設備改修工事（トイレ改修工事含む）</div> <div>■改修工事概要（舞台設備工事）<ul style="list-style-type: none">・舞台照明設備改修工事（全面更新）・舞台音響設備改修工事（全面更新）</div>	<div>配置図 S=1/1000 (A1)</div>
--	------------------------------

<div>■改修後の音響調査について</div> <div>＜大ホール 音響測定仕様＞<p>（1）測定の目的 改修工事が完了し、ホールが運用可能になった時点で、竣工検査の一環として音響測定を実施する。改修前測定（2021年6月実施）による結果と比較検証のうえ、音響特性の変遷を明確化する。</p><p>（2）測定実施時期 原則として全ての工事完了後とするが、工程上やむを得ない場合は監督職員と協議のうえ音響性能が完成時と同等と判断できる段階で実施することができる。その場合であっても下記の条件を遵守すること。</p><ul style="list-style-type: none">・全ての養生シートや養生ボードなどが取り除かれていること。・空調機械設備の風量調整および騒音対策が完了していること。・電気音響設備の調整が完了していること。・測定に影響をおよぼす騒音・振動の発生する作業を行わないこと。<p>（3）測定実施機関 監督職員または監督職員の承諾した音響専門機関が実施すること。 音響測定実施者は事前に測定計画書を作成し、監督職員に提出してその承諾を得てから測定を実施すること。各工事請負者は、測定の立ち合い、測定対象物の運転・操作・調整など、測定業務に必要な条件設定に対して協力すること。</p><p>（4）測定項目</p><p>①残響時間周波数特性 【測定対象】反射板・幕設備の2条件 音源：舞台上1箇所 測定点：客席5箇所 舞台上1箇所 【測定方法】・JIS-A1409：1998「残響室法吸音率の測定方法」に準じる。 ・測定周波数は63～8000Hzの1/3オクターブ帯域ごと。</p><p>②インパルス応答 【測定対象】反射板・幕設備の2条件音源：舞台上1箇所（全指向性）測定点：客席5箇所 舞台上1箇所 【測定方法】・ISO3382-1：2009“Acoustics – Measurement of room acoustic Parameters – Part1: Performance spaces”に準じる。 ・測定周波数は125～4000Hzの1/1オクターブ帯域ごと ・エコータイムパターン、初期減衰時間、初期エネルギー比、時間重心を算出する。</p><p>③定常音音圧レベル分布（音圧） 【測定対象】反射板・幕設備の2条件 音源：舞台上1箇所（全指向性）測定点：客席36箇所 【測定方法】・舞台上の全指向性スピーカーから1/1オクターブ帯域雑音を連続して出力し、客席内の各受音点における音圧レベルを騒音計により求める。 ・測定周波数は125・500・2000Hzの1/1オクターブ帯域ごと</p><p>④空調換気設備運転音 【測定対象】幕設備の1条件 測定点：客席7箇所 舞台上3箇所 上側投光室1箇所 【測定方法】・JIS-Z8731：2019「環境騒音の表示・測定方法」に準じる。 ・測定周波数は31.5～8000Hzの1/1オクターブ帯域ごと。 ・目標値（NC-20）に対して10dB以上自己ノイズの低い測定器を用いる。</p></div> <div>＜小ホール 音響測定仕様＞<p>（1）測定の目的 改修工事が完了し、ホールが運用可能になった時点で、竣工検査の一環として音響測定を実施する。改修前測定（2021年6月実施）による結果と比較検証のうえ、音響特性の変遷を明確化する。</p><p>（2）測定実施時期 原則として全ての工事完了後とするが、工程上やむを得ない場合は監督職員と協議のうえ音響性能が完成時と同等と判断できる段階で実施することができる。その場合であっても下記の条件を遵守すること。</p><ul style="list-style-type: none">・全ての養生シートや養生ボードなどが取り除かれていること。・空調機械設備の風量調整および騒音対策が完了していること。・電気音響設備の調整が完了していること。・測定に影響をおよぼす騒音・振動の発生する作業を行わないこと。<p>（3）測定実施機関 監督職員または監督職員の承諾した音響専門機関が実施すること。 音響測定実施者は事前に測定計画書を作成し、監督職員に提出してその承諾を得てから測定を実施すること。各工事請負者は、測定の立ち合い、測定対象物の運転・操作・調整など、測定業務に必要な条件設定に対して協力すること。</p><p>（4）測定項目</p><p>①残響時間周波数特性 【測定対象】反射板・幕設備の2条件 音源：舞台上1箇所 測定点：客席3箇所 舞台上1箇所 【測定方法】・JIS-A1409：1998「残響室法吸音率の測定方法」に準じる。 ・測定周波数は63～8000Hzの1/3オクターブ帯域ごと。</p><p>②インパルス応答 【測定対象】反射板・幕設備の2条件音源：舞台上1箇所（全指向性）測定点：客席3箇所 舞台上1箇所 【測定方法】・ISO3382-1：2009“Acoustics – Measurement of room acoustic Parameters – Part1: Performance spaces”に準じる。 ・測定周波数は125～4000Hzの1/1オクターブ帯域ごと ・エコータイムパターン、初期減衰時間、初期エネルギー比、時間重心を算出する。</p><p>③定常音音圧レベル分布（音圧） 【測定対象】反射板・幕設備の2条件 音源：舞台上1箇所（全指向性）測定点：客席24箇所 【測定方法】・舞台上の全指向性スピーカーから1/1オクターブ帯域雑音を連続して出力し、客席内の各受音点における音圧レベルを騒音計により求める。 ・測定周波数は125・500・2000Hzの1/1オクターブ帯域ごと</p><p>④空調換気設備運転音 【測定対象】幕設備の1条件 測定点：客席2箇所 舞台上2箇所 【測定方法】・JIS-Z8731：2019「環境騒音の表示・測定方法」に準じる。 ・測定周波数は31.5～8000Hzの1/1オクターブ帯域ごと。 ・目標値（NC-20）に対して10dB以上自己ノイズの低い測定器を用いる。</p></div>	<div>案内図 S=NON</div>
---	----------------------